

地域おこし協力隊とは、

条件不利地域等の地方公共団体が都市地域から地域の活性化に意欲のある人材を「地域おこし協力隊」として受け入れ、地域課題の克服と共に本人の定住化を図ろうというものです。

【問合せ先】

いすみ市地域おこし協力隊

大原庁舎（2階） 企画政策課内

☎62-1382

後藤 啓一（メール）

✉goto.isuming@gmail.com



2018年9月にいすみ市地域おこし協力隊に就任した後藤啓一さん。市の農業や自然環境の保全に向けた活動を行っています。

学校給食の食材が地産 地消・無農薬有機野菜に！

現在、市内小中学校の給食用のお米は、全量が地元産の無農薬有機米「いすみっこ」となっています。市外、県外の皆様からも市の学校給食が注目されています。

それに続けと、学校給食用の野菜も一部が地元産の無農薬有機野菜になりました。

学校給食用に無農薬 有機野菜を育てる

昨年春から、市内で以前から学校給食用の野菜作りをされていた有機農業クラブの皆さんや、夷隅農業事務所の普及指導員、市の農林課の職員に指導を受けながら、松丸にあるオーガニックファームで無農薬有機野菜の栽培のお手伝いをしています。昨年度はこのファームから長ネギを学校給食用に出荷することができました。

本年度は長ネギに加え、玉ねぎ、じゃがいもを出荷できるように栽培に挑戦しています。

いすみ市の未来に向けて

新型コロナウイルスとの共存で私たちの生き方や価値観に変化がやって来ます。そうした中でも、いすみ市の子ども達や家族、農業の未来を、地産地消・無農薬有機野菜の取組で作っていきたいと考えています。



1

この春、松丸の畑の一角には「給食野菜畑」の看板が立ちました。この活動には、地元の皆さんと、多くの移住者が参加しています。更に多くの学校給食野菜生産メンバーが必要です。学校給食用の野菜づくりにご関心のある方はご連絡下さい。一緒にいすみ市を盛り上げましょう！

①オーガニックファームで作業をしている皆さん
②給食野菜畑の看板



2